

令和2年9月15日

保護者 様

島原市立第五小学校  
校長 野中 邦明

## 令和2年度前期「学校評価・保護者アンケート」のご意見に対する考察 及び集計結果について

白露の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、7月に実施いたしました「学校評価・保護者アンケート」のご意見に対する考察及び集計が終わりました。良かった点は、今後いっそう伸ばしていくとともに、問題点や課題につきましては、全職員で共通理解を図り、一つ一つ良い方向へ改善していく所存です。

今後とも、本校教育の充実・発展のため、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

### 記

- 1 保護者アンケート実施対象：児童数で実施 回答数 320 / 323
- 2 グラフは肯定的割合を百分率（%）で表しています。（無回答を除く）  
肯定的割合は、4段階評価の「4もしくは3」と答えた人数を回答者数で割ったものです。

### ○保護者のご意見に対する考察

- ・学校については、行く機会もなくわからないので、未記入で失礼します。
- ・コロナの影響で入学式以降、学校へ行く機会がなく、学校の雰囲気などわかりにくい項目がありました。
- ・10、11、12、13、14、18に関しては、コロナで部会、参観もないので、適当には書けません。申し訳ありません。
- ・今回は、学校に行く機会がないので、判断しにくいところもありました。
- ・今年度は、まだ授業参観が行われていないので、学校での生活がどうなのかわからないので、なるべく早く授業参観をしてほしいです。
- ・コロナの影響でなかなか教室や学校全体的に見せていただく機会がないことがとても残念です。コロナが落ち着き、より学校行事に参加できる日が楽しみです。子どもはとても楽しく学校へ行っていますので安心してしています。
- ・子どもが勉強したことをあまり理解していないように思われます。また、授業参観もなく、子どもの学校での様子が全くわかりません。他の小学校では、授業参観もあったと聞いています。ぜひ、授業参観を実施していただきたいと思います。子どもたちの授業中の態度等を見たいと思います。よろしく願います。
- ・前年度終わりから今年度に入り、学校の様子や活動が縮小・中止等によりアンケートの一部が未記入となってしまう申し訳ありません。子どもが友達と一緒に学んだり、遊んだりすることができることに感謝しています。ありがとうございます。
- ・本年度に転校してきましたが、コロナのこともあって学校のこと、育友会、地域のことなど把握していないこともあります。今のところ不満や不安なことなく登校できています。ありがとうございます。
- ・コロナで行事が少なくなり、学校に親が行くことがほとんどないですが、娘は学校にしっかり行けるようになったのが安心しました。本当にありがとうございます。末っ子に手がかかり、寂しい気持ちやもういいやという気持ちになっていないかと思ひます。私が、甘いところがあるので、しっかりしなきゃと思ひます。すみません。

- ・学校での様子や授業でのつまずきなど、具体的に知らせてくださるので、家庭でも子どもに声をかけたり、一緒に考えたりする機会となり、ありがたいです。子どもも楽しそうに学校での様子を話してくれるので、親としても安心して学校へ送り出しています。先生方の温かいサポートのおかげです。ありがとうございます。
  - ・今年度、授業参観等がなく、学校へ行く機会が減りましたが、子どもたちは、楽しく元気に学んでいるようで、学校での様子をよく話してくれます。先生方のサポートが充実しているので、大変ありがたいです。感謝、感謝です。
  - ・親の許可なく、学童にも連絡を入れず、何回も時間に遅れるというのはいりえないと思います。
  - ・特にありません。娘は学校が楽しいようです。
  - ・今後も子どものことよろしくお願いします。
  - ・今後もご指導よろしくお願いします。
  - ・教科によっては、スクリーンを利用する際、拡大されておらず、画面が見にくいことがあるようです。使用される場合は、フルスクリーンでやっていただくとありがたいです。
  - 新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守ることを最優先に考えて、1学期は学校行事や育友会活動、授業参観や学級部会等の中止や延期、自粛をお願いしてきました。学校での子どもたちの学習や生活、活動の様子等を直接ご覧いただく機会がなかったことをご心配をおかけいたしました。保護者や地域の皆様のご理解やご協力のおかげで、これまで第五小学校の関係者からは、感染者がでておりません。引き続き、感染防止に努めつつ、2学期以降は、学校行事や育友会行事等を密を避けたり、時間を短縮したりする等の工夫をしてできる限り実施していくことにしております。
  - 学校では、「授業で勝負する教師」をめざし、子どもたちが「できた」「わかった」を実感し、笑顔があふれ、自己有用感に浸れるようにと毎日の授業に努めています。
  - 五小は、平成30年度から3か年の市の指定を受けて算数科の研究に取り組んでいます。子どもたちに学力をつけるために指導方法の研究を全職員で一丸となってい、授業改善を行い、教員一人一人の指導力の向上にも努めています。
  - 教育機器やデジタル教材を有効に活用し、子どもたちにわかりやすい授業づくりに努めてまいります。また、機器の使用の仕方については、教員で研修を行ってまいります。
  - 基礎学力の定着や家庭学習の習慣化を図ることを目的に、漢字・計算練習、音読、自主学習等を学年の発達段階に応じて課しております。また、週末には、プラス1（ワン）としてプリントを配付したり、学期に1回、生活リズムチェックカードを活用し、早寝・早起き、朝ご飯、メディアコントロールに取り組んでいます。
  - 子どもたちの下校時刻については、安全面や学童の迎え等を考慮し、時間を守るようにしていきます。
- 
- ・学校の様子や状況については、あまりよくわかりません。すみません。また、学校に対して意見や気づきを書くアンケートが記名様式だと書きにくいと思いました。1つだけ、児童を指導なさる際、みんなの前で一人に対して指導を行われることに、少し抵抗を感じるのはいりだけでしょうか。
  - ・子どものクラスではありませんが、隣のクラスで、よく問題(?)が起きているのか、よく話してきます。まだまだ言葉で上手に伝えられない年頃で、すぐ手足が出ることも多いのかなと思います。学校内でのマナー、友達との関係の築き方等、指導してもらえるとありがたいです。先生方も大変だということは重々承知していますが、よろしくお願いします。
  - 保護者からの率直なご意見を真摯に受け止め、学校の経営方針や授業改善、教師の指導力や子どもへの対応力、子どもたちの健全な育成、保護者や地域の連携等の様々な点に生かし、取り入れていけるように以前から記名式とさせていただいております。また、アンケートへの回答によっては、個別に対応をし、解決しております。

→学校では、複数の教員の目で子どもたちを観察し、よいところを認め、ほめるようにしています。また、子どもたち一人一人の心に寄り添い、人権に十分配慮をしながら、個別に指導を行ったり、全体に指導を行ったりしております。子どもたちには、「どこがよくて、なぜよかったのか」や「どこがよくなって、なぜよくなかったのか。また、どうすればよかった（よい）のか」等、具体的に、指導の機会を逃さないように、振り返ったり、自分と重ね合わせたりしながら考えさせて指導することが教育効果を高めます。今後も児童理解の方法や指導の方法については、文部科学省や長崎県教育委員会からの指導資料等を参考にして研修を深めてまいります。

・雨の日に靴が濡れるので長靴をはいて行くように話をしますが、「靴箱に入らないからはいていかない。」と言います。長靴が置ける靴箱あるいは置いていい場所がありますか。

→雨の日でも頑張って徒歩で登校するように励ましてくださっていることに感謝します。靴箱が古い規格で、長靴が置けないことを申し訳なく思います。長靴を横にして入れたり、靴箱の上に置いていいように指導をしたりしていきます。また、長靴が入るような大きさに変えられないか教育委員会とも相談を行ってまいります。

・よいあいさつをしてくれる児童がいて、すがすがしい気持ちになり、近所のご年配の方も「気持ちのいいあいさつが家の中まで聞こえてきて、大変気分がいい」と笑顔で話されていました。一人でも多くの元気な子が増えるとうれしいです。通学路で車道に出ないようにしてほしいです。

→大変嬉しく、ありがたいご意見です。人と人とのふれあいは、言葉によって深まっていきます。その最初の一歩があいさつの言葉でしょう。学校では、「いつでも どこでもだれにでも 大きな声で 自分から」を合言葉にして、全職員で共通理解を図って指導を行っています。また、生活委員会が毎週木曜日の朝、1棟と2棟の児童玄関に立ち、登校してきた友達にあいさつ運動を行い、あいさつの輪を広げています。家庭や地域でもあいさつの大切さを、大人がよい手本を示して実践し、ほめて認め、励ましていただきたいと思います。

→子どもたちの登下校については、常に交通ルールを守ることや寄り道をしないで決められた道を歩いて登下校すること、不審者に気をつけ、できるだけ一人にならないようにすること等を指導しております。今後も、学年の発達段階に応じて、具体的に、わかりやすく指導を行ってまいります。

・正門の見守りカメラの向きですが、入口（坂）のところが写ってなく、うさぎ小屋の方を向いているのですが、左側を写しているのでしょうか。

→正門のスロープは、交通事故防止のために、子どもたちは登下校時に通ってはいけない決まりにしています。したがって、正門の見守りカメラやセンサーは、1棟の脇を通過した際に反応するようになっています。ですから、うさぎ小屋の方を向いています。

・放課後だったり、休日だったりなのですが、何人かで集まって遊んだりするのはいいと思うのですが、不燃物などを持ち出し、遊んだ後、そのまま片付けもせず、放置していく子どもたちがいます。大雨が続き、水たまりができ、遊んだりもしていたようですが、真横に車が停車しており、その車は泥水がかかり、すごく汚れていました。もう少し、考えて遊んでほしいです。放課後や休日なので、保護者の責任だと思うのですが、目にあまるものがありましたので、よければ注意していただければと思い書かせていただきました。ご迷惑おかけして申し訳ありませんが、よろしく申し上げます。

→子どもたちの遊びや遊ぶ場所については、「危ない遊びでないか」「遊んでいい場所なのか」等を考えて遊ぶように指導しています。「地域の子どもたちは、地域で育てる」の意識で、見かけた場合は、注意をしてくださり、学校へ連絡をしてくださるようお願いいたします。

# 肯定的割合

